

---

# 遊戯王GX 魔法使いの軌跡

ポッキー・ボーイ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戲王GX 魔法使いの軌跡

### 【Zコード】

N7725Y

### 【作者名】

ポッキー・ボイ

### 【あらすじ】

遊戲からブラックマジシャンを託された夏稀が  
楽しく？愉快に？学園生活を送れるのか。

## 01話 愉快に楽しく入学試験（前書き）

馴文ですがこれから宜しくお願ひします。

## 01話 愉快に楽しく入学試験

「本当にアカデミアに行くのか？」

「ああ、いつまでもアンタに迷惑かけられない。」

「それなら、これを持って行け。」

「これ…本当にいいのか？」

「ああ、アカデミアがんばれよ。」

デュエルアカデミア、KC社がスポンサーのプロデュエリスト養成  
学校である

その入学試験が海馬ランドで行われていた

「試験番号01番、1番ファイールドにて実技試験を始めます。」

あつ、俺呼ばれた、さつさと終わらせて他の奴らの「デュエルでも見よ」。

「よつこそなノ～ネ、ワタクシ～がアナ～タの実技担当なノ～ネ。」

な、なんだコイツ？ブサイ……変な顔をして、しかも喋り方が気持ち悪い

こんな意味不明が先生やつていいのか？

「アナ～タ、今、とてつもなく失礼な事を考えてなかつたデスカ？」

「何！意味不明だけじゃなくテレパシーまで使えるだと？！  
さすがデュエルアカデミア、色々な人？がいるぜ。」

しまつた、つい本音が

「やつぱり失礼デス～ノ」

「失礼？あ～、確かにまだ名前を言つてませんでしたね、失礼しました。」

「ちがうノ～ネ、名前なんてどうでもいいノ～ネ  
さつきの発言が失礼なノ～ネ。」

「ノヽネノヽネ、喧しい、イラつとくるんだよ  
お前の方が失礼だ、チエソジだチエソジ！」

「ぬぬぬ、私を怒らせたら、ジツなるか、思いしじらせてやります。」

「おー、Hセ外国語じゅ無くなつてゐるわ?」

「.....」

「ぬぬぬ、ワタクシへを怒らせたコトへを後悔せりやりマース」  
何事も無かつたように言い直した！つーかやつぱりキャラ作つてた  
のか

「ワタクシへは、クロノスでーす、よく覚えておきなさーい。」

「俺の名前は、鷹茂たかしげ 夏稀なつきだ、お前の名前を覚える氣は無いから  
俺の名前を覚えなくても良い、と語つより覚えるな。」

「とことん、ワタクシへを馬鹿タイガーホースにしーテ  
スクラップにしてやりまーす、覚悟しなさい」

「「デュエル」」

「ワタクシへのターン、ドローー！」。

「これは良い手札なーネ

「トロイホースを召喚、さらに「魔法カード」、二重召喚を発動！  
トロイホースを生贊に古代の機械巨人を召喚するー！」

### 【効果モンスター】

星8／地属性／機械族／攻3000／守3000

このカードは特殊召喚できない。

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時、このカードの攻撃力が守備表示モンスターの守備力を超えていれば、その数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える。このカードが攻撃する場合、

相手はダメージステップ終了時まで魔法・罠カードを発動できない。

】

「あ～あ、あの一番可哀想に…」「終わったな」りや

観客は何騒いでるんだ？ただの機械が一体だろ？

「ワタシはさらば、一枚セットして、エンドなの～ネ」  
念のため、聖なるバリアマリーフォースを伏せておくの～ネ

「俺のターン、ドロー」

すげえ、手札が神だ！これなら一キル行けるぜ。

「何か良いカードでも引けまし～タか？」

何をしようがこの陣形は崩せないノ～ネ

「まあな、このターンでお前を倒す！」

魔法カード黒魔術のカーテンを発動！ライフを半分払い自分のゲッキから

「ブラック・マジシャン」を1体特殊召喚する。」

### 【通常魔法】

このカードを発動する場合、

そのターン他のモンスターを召喚・反転召喚・特殊召喚することが  
できない。

ライフポイントを半分払い、

自分の「テッキから「ブラック・マジシャン」を1体特殊召喚する。【

「ブラック・マジシャン」なんでアナタがそんなカードを?..

「これはな、遊戯さんに託されたカードだ。」

「あの『ユエルキングに託されたナーンて、アナタは何者ですか  
?」

「ただの一匹狼さ、千本ナイフと黒・魔・道を発動!  
アンタのフィールドを全滅させる。」

「あわわ、ワタクシの古代の機械巨人と聖なるバリア ミラー  
オースがあ」

「さりに、友情YOU-JYOUを発動!

お前が握手に応じたらお互いのライフポイントを合計して半分に  
する。」

「そんなの、応じる訳無いの~ネ

「残念だが俺の手札に結束IRCLE-TYPEが有るから強制になる。」

お互に近づき握手をする

「ほら先生、生徒との握手ですよ、もつと熱血教師っぽく。」

あらり、ぐ・う・ぜ・ん先生の間接が外れて（はずして）しまつた、  
申し訳ない…

「何するの~ね、こんな友情でもYU-JU-YOでも無いの~ネ」

「やだなあぐ・う・ぜ・んですよ、ぐ・う・ぜ・ん。  
ちなみに、これでお互いのライフは3000です。  
さらにBMに魔術の呪文書を装備、これで攻撃力が700上がり  
3200になる。

「どうめだ、ブランクマジック！」

クロノス LP0

「覚えておくノーネ。」

## 負け犬様が何を言う

さてと、他の奴のでも見に行きますか。

ちなみに、その後、クロノスは名誉挽回を狙い  
2番に挑んだが、破壊輪で古代の機械巨人を破壊され敗北  
さらに、遅刻してきたHERO使いにも負けていた

そして俺はオシリスレッドになった……何故だ？皆田見当がつかん



## 01話 愉快に楽しく入学試験（後書き）

皆様お氣づきでしょうが  
夏稀の手札が全部魔法！  
それは何故か？  
私の文才が無いからです。  
もう眠いんでプロフィールは明日つてもう今日か

## プロファイル（前書き）

題名のまんまです。

## プロフィール

鷹茂 たかしげ  
夏稀 なつき

- ・家族は4人家族で父、母、姉、がいるが家族ぐるみの虐待を受けしており
- ・家出をして、路頭を彷徨ついている時、遊戯に出会い一緒に旅をした
- ・遊戯には絶対の信頼を寄せている。
- ・しかし、過去が過去のため、普段は一人でいる
- ・使用デッキが、プログラミングデッキとエンディングミミオンデッキ
- ・精霊は、マジッククリボー オリカ
- 【星1 魔法使い族 光属性
- デッキから魔法カードを除外し、その効果を得る  
この効果は相手ターンでも使えるが  
デュエル中に1回しか使えない】

## プロフィール（後書き）

もう今日だったので、更新しました。

ヒロイン未定なので、原キャラ、オリキャラ、タッグフォースキャラ  
で要望があつたら言ってください。  
では……

## 02話 ＶＳ十代前編（前書き）

恒例のデュエルです。  
では、どうぞ。

入学試験後、合格通知が届き、何故かオシリスレッド...

しかも、入学式で校長先生の長...いお話を聞かされ、さら...寮に行けば

オンボロな寮とニヤーニヤーうるさい先生、悪夢だ！

「私がレッド寮の寮長の大徳寺ですニヤー、レッドだからって挫けず頑張ってイエローを田指して欲しいニヤー何か質問が有るかニヤー？」

「ニヤーニヤー五月蠅...です。」

「何も無いみたいだから、部屋割りを発表するニヤー。」

「ひじり、こここの先生は何事も無かつたよつて進めるんだ？」

「…………

13号室、遊城十代、丸藤翔、鷹茂夏稀、  
14号室、…………

えつと……確か遊城十代がクロノスを倒したHERO使いで  
丸藤翔がロイドだったかな？

などと考えていると二人が話しかけてきた

「鷹茂で合つてるよな？俺は遊城十代、十代つて呼んでくれ  
同じ部屋だろ、これから宜しくな。」

「夏稀でいい、宜しく。」

「僕は丸藤翔、宜しくね。」

3人で話をしながら部屋に向かう

「ドキドキするなどんな部屋だろ。」

「レッドだから、口クなもんじゃ無いだろ。」

部屋に入ると狭い部屋で机が一個、一段ベッドが一つ、といった構  
造だった

「ベッドが2個か、となると一人が下で寝るのか。」

「誰が下で寝るか話合つていると、ベッドの上から  
巨大コアラが現れた

「3人じゃ無いんだな〜僕も居るから4人なんだな〜」

「十代大変だ！人の言葉を喋る巨大コアラが現れた。」

「失礼なんだな〜ちゃんといこの生徒なんだな。」

「凄いな、コアラでも入学できるのか

「3人 + 1匹か、じゃあ、1人 + 1匹が下で寝るのか……狭いな。」

「僕は、前田隼人なんだな、コアラじゃ無いんだな、  
あと僕が下なのを確定しないで欲しいんだな。」

「隼人君、それは自分をコアラと認めてるつスよ」

「違うんだな、違うんだな」

「しううが無い、ジャンケンで決めるぞ、コアラはジャンケン分か  
るか？」

「夏稀君もいい加減にしてあげて欲しいつス」

そしてジャンケンの結果は俺と十代が勝ち、俺が上のベッド、十代  
が下のベッドになつた

「なあなあデュエルしようぜ？デュエル！」

「どうせ断つても諦め無いんだろ？いいぜ相手になつてやる。」

「「デュエル」」

「先行は貰うぞ、ドロー、熟練の黒魔術師を攻撃表示で召喚。」

【効果モンスター】

星4／闇属性／魔法使い族／攻1900／守1700  
このカードがフィールド上に表側表示で存在する限り、  
自分または相手が魔法カードを発動する度に、

このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大3つまで）。  
魔力カウンターが3つ乗っているこのカードをリリースする事で、  
自分の手札・デッキ・墓地から「ブラック・マジシャン」1体を特  
殊召喚する。】

「さらに魔力掌握を発動し熟練の黒魔術師にカウンターが二個乗り  
デッキから魔力掌握を手札に加える。」

【通常魔法】

フィールド上に表側表示で存在する魔力カウンターを  
乗せる事ができるカード1枚に魔力カウンターを1つ置く。  
その後、自分のデッキから「魔力掌握」1枚を手札に加える事がで  
きる。

「魔力掌握」は1ターンに1枚しか発動できない。】

「そして打ち出の小槌を発動し手札を一枚入れ替える。」

【通常魔法】

自分の手札を任意の枚数選択し、デッキに戻しシャッフルする。

その後、デッキに加えた枚数分のカードをドローする。】

「これでカウンターが三つになった熟練の黒魔術師を生贊にてッキからブラック・マジシャンを特殊召喚。」

#### 【通常モンスター

星7／闇属性／魔法使い族／攻2500／守2100】

「来たか、ブラック・マジシャン、ワクワクするぜ。」

「カードを一枚伏せ、ターンエンド。」

「俺のターン、ドロー、手札から融合を発動！手札からバーストレディとフェザーマンを融合、来いマイフェイバリットカード、E・HEROフレイムウイングマン」

#### 【融合モンスター・効果

星6／風属性／戦士族／攻2100／守1200

「E・HERO フェザーマン」 + 「E・HERO バーストレディ」

このモンスターは融合召喚でしか特殊召喚できない。

このカードが戦闘によってモンスターを破壊し墓地へ送った時、破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。】

「残念だがブラック・マジシャンより攻撃力は低いぞ。」

「慌てるなよ、ヒーローには、ヒーローの戦つ場所が有るんだ、摩天楼 スカイスクリイパーを発動！」

【フィールド魔法

「E・HERO」と名のつくモンスターが攻撃する時、攻撃モンスターの攻撃力が攻撃対象モンスターの攻撃力よりも低い場合、攻撃モンスターの攻撃力はダメージ計算時のみ1000ポイントアップする。】

「ああ、デュエルを楽しもうぜ。」

02話 ＶＳ十代前編（後書き）

ビニヨーな切り方で下さいません、  
時間が無い物で……

03話 ＶＳ十代中編（前書き）

短いし切り方がビミョーです、すいません。

## 03話 √S十代中編

夏稀 LP4000

手札3 伏せカード1 BM一体

十代 LP4000

手札2 スカイスクレイパー フレイムウイングマン一体

「さあ行くぜ、フレイムウイングマンで攻撃！スカイスクレイパー シュート」

「血迷ったか？攻撃力が400足りないぜ。」

「そんな事は百も承知だぜ、スカイスクレイパーの効果でフレイムウイングマンの攻撃力が1000アップするぜ。」

「1000アップだと？！チート効果も大概にしろしかし、俺はその幻想をブチ壊す！」

「即効魔法発動！デイメンション・マジック！BMをリリースしフレイムウイングマンを破壊！」

### 【速攻魔法

自分フィールド上に魔法使い族モンスターが表側表示で存在する場合に発動する事ができる。

自分フィールド上に存在するモンスター1体をリリースし、手札から魔法使い族モンスター1体を特殊召喚する。

その後、フィールド上に存在するモンスター1体を破壊する事ができる。】

「俺のフレイムウイングマンが」

「さらに、手札から「ブラック・マジシャン・ガールを特殊召喚！」

【効果モンスター】

星6／闇属性／魔法使い族／攻2000／守1700  
お互いの墓地に存在する「ブラック・マジシャン」「マジシャン・オブ・ブラックカオス」1体につき、「」のカードの攻撃力は300ポイントアップする。

「げげ…さらりに来るのか。」

「誰だ？今その魔法の方がチートだろ…とか言った奴は？」

「凄いツス、BMGツス、感激ツス。」

「つて、翔！いつからそこにな？」

「何言つてるんスかBMG有る所にこの翔有りツスよ。」

「……………続ける十代。」

「手札から、融合回収を発動、効果で墓地のバーストレディと融合を手札に加えて

「融合発動、ランパートガンナーを守備表示で融合召喚！」

「融合モンスター・効果

星6／地属性／戦士族／攻2000／守2500

「E・HERO クレイマン」+「E・HERO バーストレディ」

このカードは融合召喚でしか特殊召喚できない。

このカードが表側守備表示の場合、守備表示の状態で相手プレイヤーを直接攻撃する事ができる。

その場合、このカードの攻撃力はダメージ計算時のみ半分になる。」

「ターンエンド」

「俺のターンドロー」

「ちつ、何もできねえな

「カードを伏せターンエンド。」

「俺のターンドロー、強欲な壺を発動！」

「こ」で強欲か、運がいい

「そして俺は羽クリボーを守備表示で召喚しカードを一枚伏せる。」

なんでコイツが遊戯さんの羽クリボーを持つてるんだ

04話 ＶＳ十代後編（前書き）

更新遅れました…

でわざうぞ

04話 √S十代後編

夏稀 LP4000

BMG 伏せカード1 手札2

十代 LP4000

ランパードガンナー、羽クリ スカイスクリイバー

伏せ1 手札0

「十代、ちょっと良いか？」

「ん? 何だ?」

「どうして、羽クリボーを持っている?」

「何つて、入学試験の時に、貰つたんだ。」

「誰に？」

「顔を良く見てなかつたから覚えてないな。」

「ドンマイ十代、君が会えたのは君の憧れる『ユエルキング』だ。

「つまらん事を聞いてすまない続けてくれ。」

「変な夏稀……、ランパートガンナーを攻撃表示にし攻撃力が1000上がつた

ランパートガンナーでブラックマジシャンガールを攻撃！』

「無駄だ、罠発動！和睦の使者、ダメージを0にし破壊を無効！』

「また防がれたぜ……ターンエンド。』

「俺のターンドロー、……B MGでランパートに攻撃！』

「罠発動、攻撃の無効化！』

「ちつ、ターンエンド。』

「俺のターンドロー、……魔法カード天よりの宝札、お互いは手札が6枚になるまでドローする。』

「またドローカードか、どんな運してるんだ？」

「ワイルドマンを召喚し、攻撃力が2500になつたワイルドマン

でB MGに攻撃！！

「まだ、手札のパワーフェイスマジシャンを捨て効果発動！墓地の魔法カード×100ポイント自分の魔法使い族の攻撃力を上げる！！向かい撃てブラックバーニング！！」

B MG攻2300 2600

B MGのメラゾーマ？がワイルドマンを黒焦げになつて消えていった……

十代LP3900

「なら攻撃力が1000上がったランパートガンナーでブラックマジシャンガールを攻撃！」

「まだ、まだ終わらんよ、手札のディフェンドフェイスマジシャンを捨てバトルフェイズを終了させる。」

「ぐつ、カードを一枚伏せターンエンド。」

「ドロー、来い！マジックリボー。」

魔法使いの格好をしたクリボーが現れる。あれ？今こつち見てウインクしたよつな……

「お前もクリボー持つてんのか～」

「ああ、俺の相棒だよ。大切な相棒だ！」

続いて死者蘇生を発動蘇れブラックマジシャン！

ブラックマジシャンでランパートガンナーを攻撃！・ブラックマジック！・

ツク！・

「悪いがこの勝負貰つたぜ、速効魔法、進化する翼を発動！手札を

2枚捨て

羽クリボーをLV10に進化する。」

【速攻魔法

自分フィールド上に存在する「ハネクリボー」1体と手札2枚を墓地に送る。

「ハネクリボー LV10」1体を手札またはデッキから特殊召喚する。】

【効果モンスター

星10／光属性／天使族／攻 300／守 200

このカードは通常召喚できない。

このカードは「進化する翼」の効果でのみ特殊召喚する事ができる。自分フィールド上に表側表示で存在するこのカードを生け贋に捧げる事で、

相手フィールド上の攻撃表示モンスターを全て破壊し、

破壊したモンスターの元々の攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。

この効果は相手バトルフェイズ中のみ発動する事ができる。】

「ハネクリボー LV10を生贋に捧げ相手フィールド上の攻撃表示モンスターを全て破壊し、

破壊したモンスターの元々の攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。」

B M 2 5 0 0 + B M G 2 0 0 0 + マジクリ 1 0 0 0 = 5 5 0 0

「甘い、マジクリ相棒の効果発動、デッキから魔法カードを除外しその効果を得る、

俺はデッキから痛魂の呪術を選択。」

#### 【速攻魔法

相手が自分にダメージを与えるカードの効果を発動した時に発動することができる。

自分の代わりに、相手はその効果ダメージを受ける。】

「という事はまさか……」

「そのまさかだ、マイキングマジックーー！」

十代レロー

「チクショー、あと少しだつたのにな〜  
でも楽しかつたぜ、ガツチャ」

「ああ、楽しかつたぜ、つとそろそろ夜か、帰るか。」

「じゃあ帰つたらまたデュエルしようぜ。」

「せこせこ…」

## 04話　VS十代後編（後書き）

オリカ

パワーフェイスマジシャン

光属性・魔法使い族・星3・攻500・守500

効果、墓地の魔法力ード×100ポイント

自分の魔法使い族の攻撃力を上げる

ディフェンドフェイスマジシャン

光属性・魔法使い族・星3・攻500・守500

効果、手札からこのカードを捨てバトルフェイズを終了させる

## 05話 VSカイザー（前書き）

万丈目、明日香戦は飛ばしました、  
ではどうやら。

## 05話 VSカイザー

十代戦の後色々な事があった、

翔がラブレターを勘違いしたり、

翔が覗きをしたり、

翔が捕まつたり、

翔が縛られたり、

翔の所為で明日香とか言つブルー女子とデュエルさせられたり……勝つたけど、

万丈目とか言う奴に呼び出されてデュエルさせられたり……勝つたけど、

まあ、あんなこんなで今日は月一テストの日だつたりする、

十代の相手は万丈目だが、俺は翔の兄上ことカイザーとだ……Wh  
y?

「えっと…先輩は何故俺となんですか？」

「伝説の『デュエリスト』からカードを受け継いだ実力を見てみたくて  
な、校長に言って  
特別に『デュエル』する事になった。」

確かにこの入学園で一番だろ、弟とはえらい違いだな  
兄弟片方しつかり片方ちやらんぼらん説は本当だつたのか！

「では始めようか。」

「『デュエル』」

「先行は譲りう。」

「ではお言葉に甘えて、ドロー、  
サイレントマジシャンLV4を召喚。」

#### 【効果モンスター】

星4／光属性／魔法使い族／攻1000／守1000  
相手がカードをドローする度に、  
このカードに魔力カウンターを1つ置く（最大5つまで）。  
このカードに乗っている魔力カウンター1つにつき、  
このカードの攻撃力は500ポイントアップする。  
このカードに乗っている魔力カウンターが5つになった  
次の自分ターンのスタンバイフェイズ時、  
フィールド上に表側表示で存在するこのカードを墓地へ送る事で、  
自分の手札またはデッキから  
「サイレント・マジシャン LV8」1体を特殊召喚する。】

「さりにフィールド魔法、魔法都市エンディミオンを発動！」

#### 【フィールド魔法】

自分または相手が魔法カードを発動する度に、  
このカードに魔力カウンターを1つ置く。  
魔力カウンターが乗っているカードが破壊された場合、  
破壊されたカードに乗っていた魔力カウンターと  
同じ数の魔力カウンターをこのカードに置く。  
1ターンに1度、自分フィールド上に存在する魔力カウンターを  
取り除いて自分のカードの効果を発動する場合、  
代わりにこのカードに乗っている魔力カウンターを取り除く事がで  
きる。

このカードが破壊される場合、代わりに  
このカードに乗っている魔力カウンターを1つ取り除く事ができる。

「お前、それはB.M.デッキじゃ無いな。」

あれ、もう気づいた？

「そりですよ、しかしこっちが本気のデッキだ！魔力掌握発動！」

「サイレントマジシャンLV4にカウンターを一個のせ、魔法を発動した事で魔法都市にもカウンターが乗る、そしてデッキから魔力掌握を手札に加える。カードを一枚伏せターンエンド。」

「俺のターンドロー。」

「その時サイレントマジシャンLV4のカウンターが2個になり攻撃力が2000になる。」

「構わん、サイバードラゴンを特殊召喚し融合呪印生物・光を召喚！」

【効果モンスター

星3／光属性／岩石族／攻1000／守1600

このカードを融合素材モンスター1体の代わりにする事ができる。その際、他の融合素材モンスターは正規のものでなければならぬ。

フィールド上のこのカードを含む融合素材モンスターを生け贋に捧げる事で、

光属性の融合モンスター1体を特殊召喚する。】

「一体を生贋にサイバードラゴンを特殊召喚！」

【融合・効果モンスター

星8／光属性／機械族／攻2800／守2100

「サイバー・ドラゴン」 + 「サイバー・ドラゴン」

このカードの融合召喚は、上記のカードでしか行えない。

このカードは一度のバトルフェイズ中に2回攻撃する事ができる。】

「くらえ！エボリューションツインバーースト！…」

「防がしてもうぜ、攻撃の無力化。」

「くつカードを1枚伏せターンエンド。」

「俺のターンドロー、…強欲な壺を発動し2枚ドロー、  
そして一枚目の魔力掌握を発動しサイレントマジシャンLV4の  
カウンターを3個に  
そして魔法都市のカウンターが2個になり魔力掌握を手札に加え  
る。」

「さりに、速効魔法手札断札を発動しあ互いが手札を一枚捨て一枚  
ドローする。

これでサイレントマジシャンLV4のカウンターが4個になりサ  
イバーツインを上回った。」

サイマジ攻3000

「サイレントマジシャンLV4でサイバーツインを攻撃！…」

「甘い、コミッター解除を発動！サイバーツインの攻撃力を一倍に  
する。」

サイバー・ツイン攻2800 5600

サイマジが無残にも葬り去られた……

「何!? 有りか? そんなの。」

夏稀 LP1400

「しかし、サイマジのカウンターが魔法都市に乗り8個になり、魔法都市からカウンターを6個取り除き、墓地から神聖魔導王 エンデイミオンを特殊召喚する。」

【効果モンスター】

星7／闇属性／魔法使い族／攻2700／守1700

このカードは自分フィールド上に存在する

「魔法都市エンデイミオン」に乗っている魔力カウンターを6つ取り除き、

自分の手札または墓地から特殊召喚する事ができる。この方法で特殊召喚に成功した時、

自分の墓地に存在する魔法カード1枚を手札に加える。1ターンに1度、手札から魔法カード1枚を捨てる事で、フィールド上に存在するカード1枚を破壊する。】

「墓地からだと…… つは! 手札断札の時か。」

「さあ第2ラウンド開始だ!」

「エンデイミオンが魔法都市の効果で特殊召喚した時、墓地から魔法カードを手札に加える、

俺は墓地から、魔力掌握を手札に加える。

ターンエンドしエンドフェイズ時にサイバーツインは破壊される。

「

「俺のターン、プロトサイバードラゴンを召喚し手札からパワー bondを発動！！

場のプロトサイバードラゴンと一対のサイバードラゴンを融合！－いでよサイバーエンドドラゴン！－！」

いやいやいや……これは無いしょ、どんだけ詰め込んでるんだサイバードラゴン

さらにはパワー bondの効果でサイバーエンドドラゴンの攻撃力は倍になる

4500 9000

「いくぞ、サイバーエンドでエンティミオンを攻撃！！  
エターナルエヴォリューションバースト！！」

あれ？エース出てきて即退場？これからだつての……

ぎゃあああエンティミオンがお亡くなりになさった

夏稀 LP - 4900

あれ？ライフが4900になってる、おかしいな……

「勝者、丸藤亮。」

お い ま だ ラ イ フ 残 つ て る ぞ …… あ れ 何 で ラ イ フ の 横 に - が 付 い て る  
お か し い な

「…… そういう事は負け？…… それは無いんだって俺のエース出でたもん、これからじやん

「アーティストの才能が消えてしまう」

しばりへお待ちください

つは？！いかんスリップしてた、えっと確かサイバーエンドドラゴンの攻撃を受けて負けたと

「おい大丈夫か？さっきからブツブツ」いつてるが…」

「大丈夫だ、ちょっと処理落ちしてた。」

「何はともあれ、デュエルしてくれて感謝する。」

「こやこや！」むりむり。

「また機会があつたら宜しくたのむ」

「ああ、じゃあな」（本音したくない）

.....

.....

.....

.....

.....

結果は変わらずのレッド寮、十代は昇格だが蹴つた、翔は知らん

もう一度と奴どるのは御免だね

## 05話　VSカイザー（後書き）

感想の制限無しが出来る事を最近知ったので解除しておきました。

感想、ヒロイン、オリカ、なんでも良いので書いてくれると嬉しいです。

## 06話 間のゲームのバーゲンセール？前編（前書き）

カイザー戦は5話にまとめました。  
今回は声の人編ですが声の人は出ません。  
オリ？展開です。

## 06話 間のゲームのバーゲンセール？前編

「今から怪談しようぜ。」

十代がまた急に言い出した

「言つたな、夜トイレに行けなくなるぞ。」

「何話てるんすか？僕も話に入れて欲しいッス。」

「僕も入れて欲しいんだな～」

「もうこんな時間か、」

「夏稀君怖すぎるっス…」

「時間的に次でラストだな」

最後誰が話すか決めようとしたところ大徳寺も話に入ってきた

「怪談してるのはか一ヤー、怪談と言えば、廃寮で行方不明者がいるらしい一ヤー

まあ噂なんだけど一ヤー邪魔して悪かつた一ヤー」

そう言うと大徳寺は出て行った、あーあこんな事言つたら十代が…

「何か面白うだな、ちょっと言つてみよっぜ。」

ほら言ひだした

「え〜嫌つスよ、帰れなくなるっス

「良いじやんかよ、ちよつと覗きに行くぐらい。」

「ちよ、ちよつとだけつスよ。」

「行くんならわざと行ひつぜ見つかると厄介だ。」

「じゅあ行ぐ。すばる。」

「りや廢寮より洋館だな バイオハザードが起つてそうだ

「何かここ住めそうだな、引っ越しすか？」

「いいなそれ、俺もそれ考えてた。」

「僕はやめとく」さやああああああああああああああ

「 」

「悲鳴？！」

「女子の声だつたつス。」

「行くぞ。」

「待て、固まつたら効率が悪い、俺は一人で一階を探すからお前らは別の所だ。」

「わかった、気をつけろよ。」

さあ、問題は「どの子をどうするか」だが

「わかつたすぐそつちに向かう。じゃあな。」

じゃあこの子は何でここにいる？例の行方不明者って奴か

「そちらしいツス、アーチビデュエルしてる人が言つてたつス」

「じゃあ、たつきの悲鳴は明日香だったのか？」

明日香だと！

「もしもし、あつ 夏稀君、大変ッス今アニキが明日香さんを救うため闇のデュエルをしてるつス。」

とりあえず連絡を……p.i p.i p.i p.i

「こ、これは大広間が広いな……誰かいる！」「こ、これは女子か結構可愛いな……じゃなくてじやあれつきの悲鳴はこの子か？」

「ナリで向をしつこる…」

急に声が聞こえたのでそつちを向くと、黒フードを被った男がいた

「誰だ？」

「今は私が質問をしてこるんだ」

「ナリのナキビツツた…」

「今は私が質問をしてこるんだが…まあいいそこはまひとつと見てはいけない物を見てしまつてね少し寝て貰つてごろ。」

「で、俺はまじつなるんだ?..」

「無論、ナリで寝て貰うか、デコエルするかだ。」

「じゃあデコエルだな。」

「せつ、無謀な奴だ、だが嫌いでは無いぞ。」

「じやあこべぢつてトリキ忘れたアアアアアア」

くわつ何で忘れてんだ俺のバカ!-

「ふはせはせ、なんとマヌケなデコエルストだ、では寝て貰つやー。」

……そうだー……

「まあ待て、『テッキ』なら有る、俺はこの子の『テッキ』を使ひやがー。」

「良いだろ？、命拾いしたな。では」

「『デュエル』」

夏稀 LP 4000

? LP 4000

さあこの子の『デッキ』はどんなんだ……何だこのモンスター見たことないぞ

「先行は私が貰おう私は魔轟神アショングウェイルを召喚！」

【効果モンスター

星4／光属性／悪魔族／攻1600／守1200  
このカードが戦闘を行うダメージ計算時に一度だけ、  
手札を1枚墓地へ送つて発動する事ができる。  
このカードの攻撃力は、そのダメージ計算時のみ600ポイントア  
ップする。】

魔轟神？聞いたこと無いな

「カードを一枚伏せ、ターンエンド。」

「俺のターンドロー、TG ラッシュ・ライノを攻撃表示で召喚、」

【効果モンスター

星4／地属性／獣族／攻1600／守800

このカードが攻撃する場合、ダメージステップの間

このカードの攻撃力は400ポイントアップする。

このカードが破壊され墓地に送られたターンのエンドフェイズ時、自分のデッキから

TG ラッシュ・ライノ以外のTGを手札に加える。】

「TG ラッシュ・ライノで魔轟神アシェンヴェイルを攻撃！効果で攻撃力が2000になる。」

「ふはは、甘いわ手札の魔轟神ソルキウスを捨て、攻撃力が2200になる。」

「何！うわああああ！」

夏稀 LP 3800

なんだ？ダメージが現実になつた……まさか！

「気づいたが、そうこれは闇のゲームだ、負ければ死が待つている。

」

なんてこつた、この寮は闇のゲームのバーゲンセールか？

「カードを1枚伏せ、TG ラッシュ・ライノの効果でTGドリル・ファイッシュを手札に加える。

ターンエンド。」

「私のターン、さあ真の恐怖を味あわせてやる。」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7725y/>

---

遊戯王GX 魔法使いの軌跡

2011年11月29日21時52分発行